

心に残る文化財子供塾 島根県立松江養護学校

1. 活動の概要

9月27日（火）、島根県立松江養護学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、埋蔵文化財調査センターの職員から説明を受けながら、ろう鏡作りにとりかかりました。工作用の粘土を鏡型に整形する作業では、最初は粘土が固かったものの丸く平らに広げ、鏡型に整えました。鏡型に鏡の文様を描く作業では、丸い型枠や割り箸・スタンプなどいろいろな道具を使って、みなさん個性のある模様を描いていきました。中にはとても細かい模様を根気強く描く生徒もいて、集中している様子でした。

型に流し込んだろうが固まる間、銅鏡についてのクイズと遺物見学を行いました。古代では鏡をどのように使っていたか、鏡は何からできているか、鏡にはどんな文様が描かれているのかを、クイズ形式で考え、理解を深めていきました。また、遺物見学では中国で出土した銅鏡を間近に見たり、模倣品に触ったりして、重さや大きさを体感しました。铸造したての銅鏡は金色をしていることに驚いた様子で、みなさんとても興味を持っていました。

ろうが固まった後、粘土の型から外して水で洗う作業では、細かい部分に残った粘土を根気強く洗いました。きれいな文様が現れたろう鏡を持って写真撮影を行い、体験活動を終了しました。

2. 活動の様子

1) ろう鏡作り



いろいろな道具があります



細かい模様を丁寧に描きます



ここにはスタンプを押そう



完成した鏡の型

2) 鏡クイズ、遺物見学



鏡に触ってみよう♪



何の模様に見えるでしょうか？

3. 子ども塾を終えて

1) 生徒の皆さんから

- ・ろう鏡をつくってたのしかったです。（もようがきれいでした）
- ・（「一番心に残ったことは」の質問）もようをつけたところ、クイズ
- ・こだいの食べ物やすまいなどが知りたいです。
- ・昔のあそびが体験してみたいです。

2) 担任の先生から

- ・歴史の授業は体験する（味覚・触覚・匂うなど）ことが難しいなと感じているので、それができると生徒の印象に残ると思う。
- ・生徒が歴史に興味を持つ入り口として楽しめる活動だったと思います。
- ・特別支援学校の児童・生徒も今後こういうチャンスは生かせるとよいと思う。

3) 埋文センターから

銅鏡や古墳時代について事前に学習をしていたので、スムーズに体験活動を行うことができました。ろう鏡作りの楽しい部分は施文の作業だと思っていましたが、みなさんの様子を見てみると、粘土をこねたりろうを型から外して洗う作業にも積極的にとりこんでいました。

鏡のクイズでは楽しみながら理解を深めることができ、遺物見学でも銅鏡がどんな色をしていたのか気づきもあり、歴史に興味をもってもらえる体験活動となったのではないかと思います。